

# 参議院選挙石川選挙区の予定候補者発表にあたって

2018年6月13日

日本共産党石川県常任委員会

2019年参議院選挙・石川選挙区をたたかう日本共産党の公認候補者として、西村祐士（にしむら ひろし）63歳、を擁立します。

安倍政権は政治、経済でも外交でも大破綻に直面しています。国政では、隠ぺい、改ざん、ねつ造、セクハラ、—どれも日本の政治史上かつてなかった出来事が起こっています。民主主義が土台から壊される異常事態であり、そのどれもが安倍首相の責任を鋭く問うものになっています。安倍政権は政権運営能力をなくしており、真相解明と責任追及を通して一刻も早く内閣総辞職に追い込んでいくことが求められています。

外交では、南北首脳会談に続き米朝首脳会談が行われ、朝鮮半島の非核化と平和の体制づくりへ大きな前進が始まりました。この間、安倍政権は対話否定・圧力一辺倒で軍事的対決をあおってきた態度は完全に破たしました。今ほど、憲法9条を生かした平和の外交への転換が求められる時はありません。

安倍政権は、内政・外交ともに深刻な行き詰まりに直面しながらも、ウソと居直りで政権にしがみつき、働き方改悪法案やガジノ法案、TPP11などを、国民の強い反対の声を押しつぶして強行をはかってきています。さらに、憲法9条改定への執念を燃やしており、憲法に自衛隊を書き込み、9条を死文化させ海外で戦争できる国に変えることをめざし、改憲発議を進めようとしています。

安倍自公政権が続くことが、日本の平和と民主主義や国民にとって最大の不幸となっています。一刻も早く安倍自公政権を退陣に追い込み、新しい政治の転換を実現していくことが求められています。

新しい政治の転換を切り開いていくために、19年参議院選挙は極めて重要な意義を持ちます。「自公とその補完勢力を少数に追い込む」ことを参院選の目標として戦います。今度の選挙で40議席を減らせば、自公と補完勢力は過半数を割ります。そのためにも、本気の野党共闘で勝利するとともに、日本共産党の躍進をめざします。

党県委員会は選挙区の勝利と、比例で全国850万、7議席以上実現のため、石川県で比例5万7千票以上獲得し、井上さとし参議院議員の再選を必ずやりぬく決意です。

中央段階では、参議院選挙の1人区で野党共闘を進めることが確認されています。自公とその補完勢力を少数に追い込むために、一人区でもっとも効果的な選挙協力の態勢をつくりだすことは絶対に必要です。日本共産党は、そのための真剣な努力を惜しむものではありません。野党共闘を成功させるためには、安倍政権に対決する豊かで魅力ある共通政策をつくりあげ、インパクトをもった「新しい政治の中身」を打ち出していくとともに、相互推薦・相互支援の「本気の共闘」に取り組む事が大事になっています。党県委員会は、本格的な野党共闘の実現めざし誠実に努力するものです。